

世界選手権2年連続金メダル3個！

ISHIWATA 019

1978 World championship

3 GOLDS in münchen

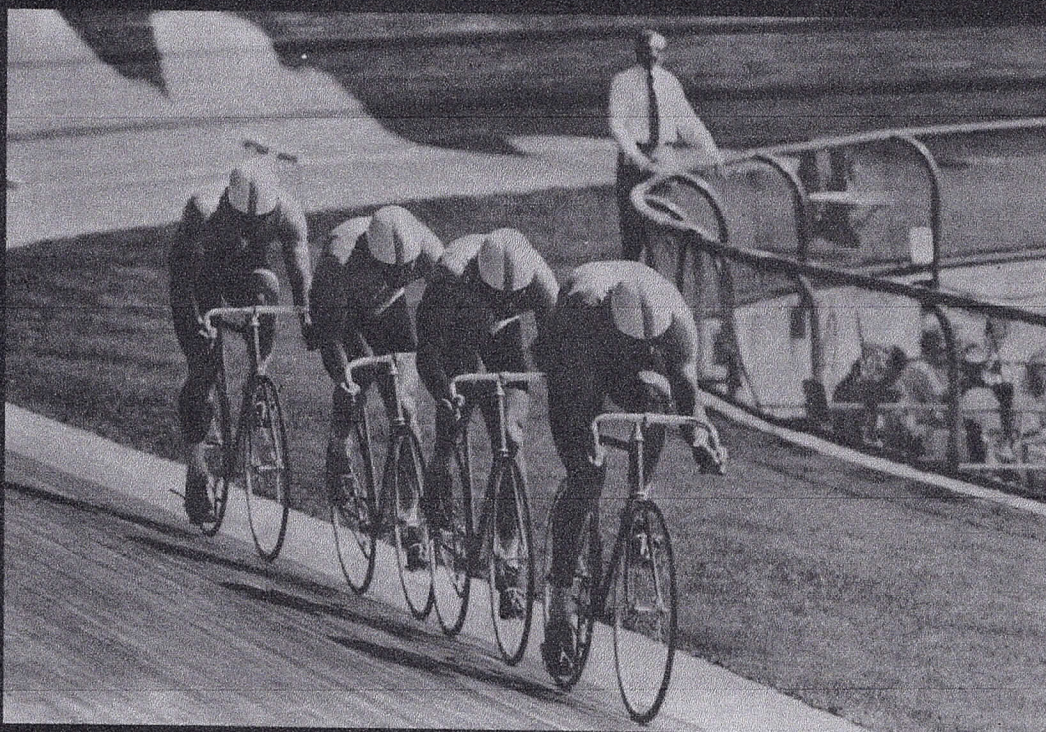
1000m T.T.

4000m individual pursuit

4000m Team pursuit

1 Bronze

4000m individual pursuit



東ドイツのスピードマン達は今年も圧勝した。'76モントリオールオリンピックから使用している 019 のラグレスフレーム（アシンメトリックオーバーバルチューブ）がミュンヘンのオリンピック競技場をブン回ったそうである。現在アマ・プロを通じてトップランクにある東ドイツ勢ではあるが、スイスのトニーマイヤーのテスト CFRP パーシュターには興味津々だったらしい。公式練習日にスイスチームは、物珍らしげに走り寄ってくる東ドイツのレーサーに手を焼いて、嚴重な抗議を申し入れたほどだった。

スイスのカーボンフレームはディンギーのマストのように、翼断面の形状をとり入れた、空力的な面からの追求がされていたようだが、まだ整理がつくされていないようである。アマチュアのチームは使用する予定だったが、スピードマン達からウィップをさらわれたようで、今回は使われなかった。プロのパーシュターのギージガーが試しに使用したが、

1,000m 毎に 1 秒 (14~15m) くらい短縮されるはずのライトイデーからは程遠い 5,000m パーシュートの結果だった。空気抵抗を減らそうとして丸い形状を翼形にしていくと翼厚方向のたわみがとまらなくなってしまう。その兼ね合いが今一歩だったのだろう。このマシンにはハンドルをフォークに処理してしまう方法がとられていたそうだが、このアイデアはフランスのルッソーという名スプリンターが 20 年くらい前にのっていたフレームに近い。それにしても世界の檜舞台にいよいよ複合材料のマシンが登場してきた。

(文責 開発 千葉洋三)

'78イシワタ新製品

カーボンファイバー+エポキシ樹脂で成ったフレーム サイズ 490~610mm (前立) 間隔) ロード・ドロップ 納期 3ヶ月 ¥198,000



禁殺 石渡製作所

川崎市川崎区出来野 9-8

TEL 044-266-3934 代